

平成23年7月29日 横川ダム防災操作速報(今年4回目)

7月27日から降り続いていた雨は、特に7月29日7時から9時にかけて流域全体に**時間雨量20mm/hを超える強い雨**が降りました。この降雨による出水により横川ダムでは今年に入って4回目の防災操作を実施しました。(横川ダムでは、完成後第一位の流入量を記録しました。今年に入り第一位の更新は3回目)

横川ダムの最大流入量は、7月29日10時10分に**約296m³/sに達しましたが**、防災操作により、**一時的にダム湖に約254m³/sを貯めて**、下流河川の急激な増水を緩和し、**小国水位観測所(横川)の最高水位を約61cm低下**させることが出来たと推測されます。また、約61cm分の低下がなければ、「はん濫注意水位」付近までの水位上昇があったと推測されます。

今回の洪水中ダム湖に貯めた水量は**約182万m³**で、東京ドーム(約124万m³)**1.5個分に相当します。**

この水量の一部は水力発電のエネルギーとして有効利用されています。

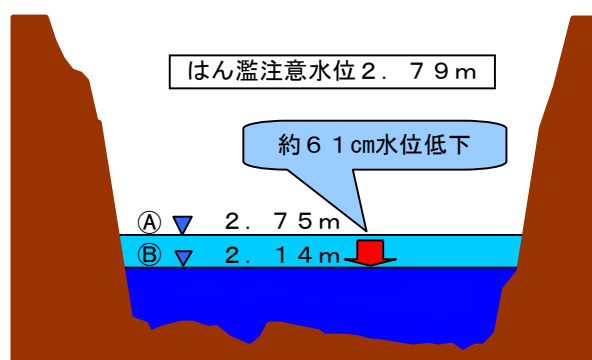
防災操作中(洪水を少なくして放流)



●今回出水における最大値

	最大値	発生時刻
流入量	296m ³ /s	29日 10時10分
放流量	69m ³ /s	29日 13時00分
調節量	254m ³ /s	29日 10時10分
貯水位	248.83m	29日 13時00分

小国水位観測所(横川)での水位低下効果



- ①: 横川ダムがなかった場合の想定水位
②: 横川ダムの防災操作による実績最高水位

問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局
横川ダム管理支所
支所長 田邊 雄司
TEL0238(65)2363(代)

(※本発表は速報のため、数値は今後変更となる場合があります。)

平成23年7月29日 出水の概要と 横川ダム防災操作の効果

○降雨の概要

7月27日から降り続いていた雨は、7月29日7時から9時にかけて、流域全体に時間雨量20mmを超える強い雨が降り、29日の降り始めから流域平均雨量で70mmを超える降雨となりました。

○出水の概要

横川ダムへの流入量は、29日9時30分に横川ダムの洪水量 $150\text{m}^3/\text{s}$ を超え、29日10時10分には最大流入量約 $296\text{m}^3/\text{s}$ を記録した。

○横川ダム防災操作の効果

横川ダムでは最大流入量約 $296\text{m}^3/\text{s}$ の内、一時的に約 $254\text{m}^3/\text{s}$ をダム湖に貯め込み下流河川の急激な増水を緩和し、小国水位観測所(横川)の最高水位を約61cm低下させることが出来たと推測されます。

